

# SNS時代のメディアリテラシー

匹田 篤：広島大学大学院人間社会科学研究科・総合科学部

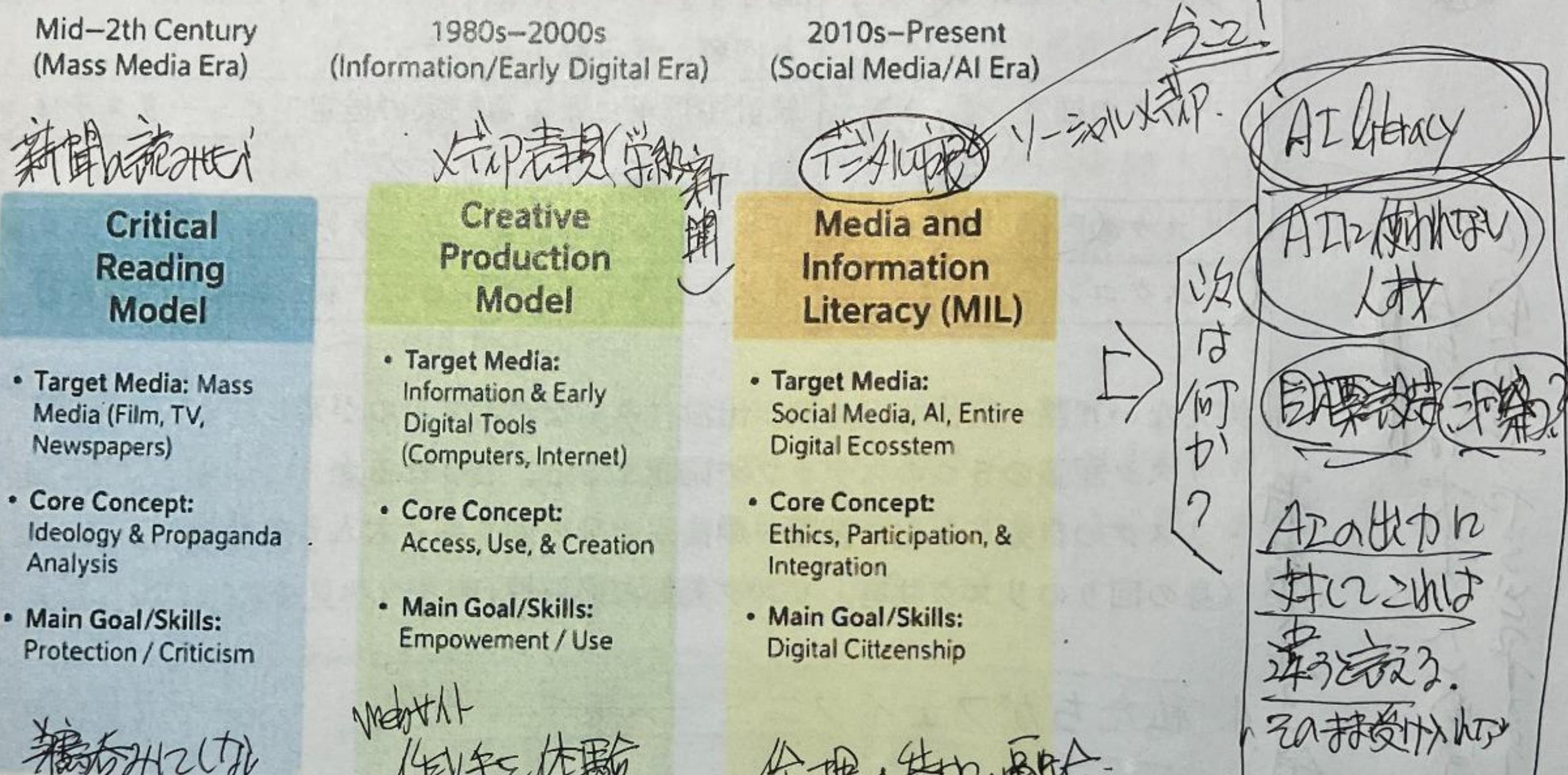
## 1. メディアリテラシーの変遷～SNS時代のリテラシーを概観する

マスメディアの時代：新聞の読み較べなどで、クリティカルな受け手を育成

初期のデジタル時代：メディア表現で、デジタル技術の活用を推進

SNSの時代：情報倫理、参加、融合などを基にデジタル市民を育成

フェイクニュースというリスク  
リスク認識の段階



(出典：Google Gemini を用いて匹田が作成)

## 2. フェイクニュースというリスクとの向き合い方を考える

フェイクニュースを分類してみる（フェイクニュースの種類はたくさんある）

事実ではないと知りながら伝えている	虚偽
真実ではあるけれど、本質を伝えていない	ミスリード
真実かわからぬが、本質っぽい	根拠不明
みんながなんとなく信じている	同調圧力
みんな冗談だときっと思ってくれる	ミスコミュニケーション

- 虚偽だけを教えても、問題は解決しない
- 特にミスリード、ミスコミュニケーションへの教育も必要

知らない内に  
ミスリード(ついば)  
されかか?

かかってない  
例) ネットの情報は偏りがあるといわれる  
(誤解) ネットの人々が誰のこと?  
(負担) ウズの人は何がどうか?  
(負担) ネットの人々は誰ですか?

実はネットの人々とは、やり合ひない  
↓  
ネットは偏りがある  
面白い、好き

受け手が「情報の意味を求める」  
 ほめんつもんが、いかに見る（議論）  
 <質問>  
 <質問>

スコット・ホール(1980) エコノミー・オーバー

どの議論があるのか  
 どの議論があるのか

「フェイクかどうかの議論は、受け手にとって本質かどうかという視点が抜けている

フェイクかどうかの議論は、送り手の意図を受け手が読み取る洞察力

表現されたものから、意図を読み解く（読書感想文）

（新聞の読み比べは本来こうであった：第一世代のメディアリテラシーへの回帰も必要）

### 3. リスクを伝える：リスク認識の5段階

防災意識

表：市民にとってのリスク認知のプロセス（楠見2005を基に匹田が作成）

段階	内容
リスクの同定	リスクの存在の認識、楽観主義バイアス
リスクイメージの形成	嫌なイメージ、未知性のイメージ、恐怖イメージ（報道の頻度と内容、読み解くリテラシー）
リスクの推定	統計や理論による専門家の推定、ヒューリスティック（直感的）な推定、認知バイアス
リスクの評価	リスクの受容可能性、リスクと便益、ゼロリスク要求
リスクコントロール	リスクコミュニケーション、安全教育、防災教育、保険加入

笑えない冗談～安佐北区に熊が出没（みんなが慌てるのが楽しいという問題）

- ・リスク認識の5つのステップで確認すると、どうなるか
- ・リスクの自分ごと化の課題～中高生の身の回り感と大人との差異  
(身の回りのリスク共有、リスク発掘の必要性)

### 4. 私たちがフェイクニュースをつくる？

ミスリードのメカニズム＝受けるところをつまみ喰い（切り張り）

"私たち"の書き込みは公平中立ではない

（マスメディアが、公平中立でないと感じるからオールドメディアと揶揄される。スポンサーだけの問題ではなさそう。マスメディアの焦り）

クリティカルに読み解くことがますます重要になる

「クリティカル＝批判的」ではなく「クリティカル＝鵜呑みにしない」

（どう教えたら良いのか、新聞の読み比べでは足りない）

・アテンションエコノミーと、公平中立のためのバランス感覚（会話とはなし対話）

・自分も送り手であり、参加していること

おどこ

→ 信頼されなければ必要

フェイクニュースだけで良いのか？態度形成

- ・SNS シミュレータの結果・過信への気づきと態度形成
- ・態度形成している人の分析結果～フェイクニュースではない記事への反応

### SNS シミュレータを用いた実験の紹介

10 の記事について、シェアするかしないか、どれだけ信頼できるかを入力してもらった。

SNS シミュレータを体験する前と後とでの、「記事の解釈」の比較。

横軸は、体験前の「解釈の自信（1~10）」

縦軸は、体験後と体験前の自身の差。

縦軸がマイナスということは、自信が低下したことを意味している。

特に高い自信を持っていた層は 144 人中 65 人おり、そのうちの 2/3 以上が自信が低下していた。（態度形成といえよう）

Fig. 1. Confidence in interpretation and changes in confidence (N=144)

実験前に高い自信を持っていた 65 人は、全体と比較すると、フェイクニュースを見極める能力には差がなく、フェイクニュースではない記事を積極的にシェアすることに差が見られる。（フェイクニュースを見極める練習だけでは態度形成には不十分）

Table 2. Correlations between Specificity, sensitivity and confidence

	all (n=145)	Confidence[7,10] (n=65)
Fake news only	Sensitivity(Post) and confidence	0.00
Not Fake news	Specificity(Post) and confidence	-0.04
Fake news only	Sensitivity(Post) and change in confidence	-0.05
Not Fake news	Specificity(Post) and confidence change	-0.17
		0.09
		-0.27**

### 生成 AI のリスクとは

- ・AI 依存、AI はフェイク？（新しいサービスを冷やかしながら使う時代）
- ・生成 AI のリスク（Over-reliance, Uncritical acceptance, Bias）+クリエイティブの危機  
== 「生成 AI の出力にこれでいいや」と受け入れてしまうリスク

「得たい情報、作りたいものを明確にする能力」

「クリティカルに読み解く能力 + 表現技法への理解」

の  
体  
験  
後

前

の  
自  
身  
の  
差

自  
分  
に  
自  
信  
が  
あ  
る  
よ

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

受け手の「情報の意味」

自己主張する人

と

反対

アーティスト

エコナビ

アテンション/エコノミー

教育組織

学校を出で行く人

落合小学校

小学校 カード下さい

「おはようございます  
アートを始めること  
教科書」